平成13年 2001 6月1日
第11号
発行／西東京市
編集／企画部広報広聴課
〒188-8666 東京都西東京市南町５-６-13
市役所代表電話／0424-64-1311
ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.tokyo.jp
ｉモード　http://www.city.nishitokyo.tokyo.jp/i/

広報 西東京

21世紀を拓き
緑と活気にあふれ
一人ひとりが輝くまち

今号の主な内容

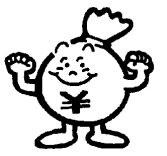
4面　りさいくる市を開催します

７月１日（日）に開催する「りさいくる市」のフリーマーケット出店者を募集します。

5面　ご存知ですか？人権擁護委員制度

西東京市では、７人の人権擁護委員が皆さんの人権を擁護するため、啓発活動や相談業務を行っています。

6~7面　平成12年度下半期財政状況のあらまし



平成12年度下半期の田無市・保谷市および西東京市の財政状況についてお知らせします。

9面　初夏の信濃路の旅参加者を募集します

菅平少年自然の家を拠点にして、さわやかな信濃路を旅してみませんか。全行程貸切バスを使用します。

６月は環境月間です

地球温暖化の問題について考える

もう一度考えてみませんか　環境のこと、地球のこと

西暦１９７２年６月、スウェーデンのストックホルムで国連人間環境会議が開催され、人類の現在および将来の世代のために、地球環境を保護し改善する世界共通の目標としての「人間環境宣言（ストックホルム宣言）」が採択されました。また、日本の提唱を受け、国連は６月５日を「世界環境デー」とすることを定めました。

日本では、環境基本法で６月５日を「環境の日」と定めています。平成３年度からは期間を拡大し、６月を環境月間として、全国で環境保全活動に関するさまざまな行事を行っています。

◆環境保全課（保谷庁舎☎内線2211～2213）

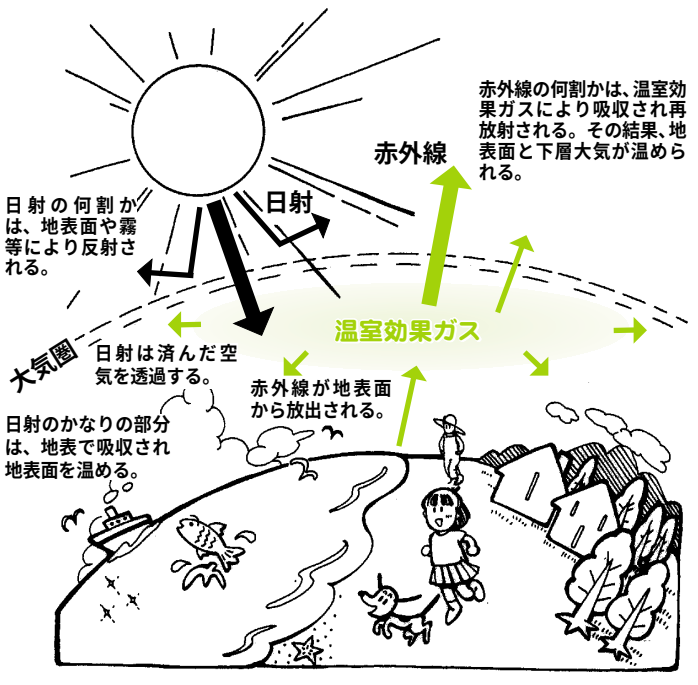
今、環境破壊は国内に留まらず、地球規模の問題となっています。最近では、地球の温暖化対策が重要な問題となっています。

地球は、太陽の放射するエネルギーを受けて暖められ、宇宙へのエネルギーの放出によって冷えます。しかし、人類の活動により温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、フロン等）の濃度が上昇し、宇宙への放熱が妨げられると、地表の温度は上昇します。この温度上昇が、気候、生態系等に多大な影響を及ぼします。このままでは、２１００年には平均気温が約２度上昇し、海水の膨張、極地等の氷の融解から、海面が50センチメートル以上も上昇することが予測され、日本の砂浜の70パーセント以上が失われると言われています。また、激しい渇水や冷夏・豪雨による異常気象は、食料生産や災害等、人間社会に甚大な被害を与えます。

温室効果の増大原因の半分以上は二酸化炭素によるもので、その大部分は石油、石炭等の化石燃料の消費によるものです。

１９９８年12月11日、地球温暖化防止の京都会議で、世界各国は二酸化炭素等の排出量の削減目標を設定しました。今、世界各国が協力して地球温暖化対策にとりくみつつあります。日本でも６パーセントの削減目標（１９９０年比）が設定され、二酸化炭素等の排出量の大幅な削減が求められています。このためには、２０１０年までに、約24パーセントの削減が必要となります。

温暖化メカニズムのイメージ



ライフスタイルを見直しましょう

日本全体のエネルギー消費の割合を見ると、産業部門の割合が非常に大きくなっています。しかし、我が国有数のエネルギー消費地である東京では、家庭部門の割合が高くなっています。このようなことから、日常生活におけるエネルギー消費量を減らしていくことが、二酸化炭素等の排出量を削減するために何よりも重要な課題となっています。

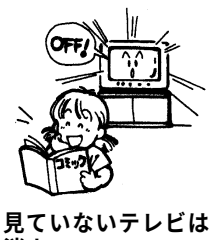
家庭でのエネルギー消費は、エアコンやテレビなど電気や、入浴や調理のためのガスの使用、ファンヒーターや自家用車などの石油燃料の消費など多岐にわたっています。生活の利便性を求めるエネルギーの大量消費型の生活から、省エネルギーに努力し、さらに新エネルギーを積極的に活用していく省エネ型ライフスタイルへの転換が求められています。各家庭での努力の積み重ねが、家庭部門全体では大きな成果を生み、地球温暖化を防ぎ、環境を守ることになります。

省エネ型ライフスタイルへの転換

◎家電製品は、消費エネルギーの少ない製品を選ぶ
◎住宅は、通風・緑化・高気密・高断熱・外断熱工法などの省エネルギー技術や太陽熱を利用した太陽熱温水器や太陽光発電などの新エネルギーを活用する
◎自家用車等は、天然ガス自動車やハイブリット自動車を積極的に活用し、公共交通の利用や自転車などの利用を促進する

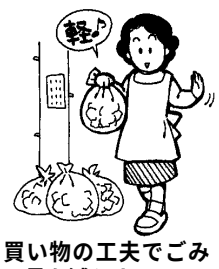
あなたにもできる地球温暖化を防ぐ省エネライフ

～二酸化炭素（CO_2）を減らそう！～



見ていないテレビは消す

エアコンの冷やしすぎには注意を



買い物の工夫でごみの量を減らす

洗顔・歯磨きで水の流しっぱなしをやめる

■あなたの省エネライフのアイデアをファクス等でお聞かせください

市役所では、分別によるごみの発生抑制・減量化、電気・ガス量等のエネルギーの削減や環境に配慮した商品の利用購入等の資源・エネルギーの有効利用に努めています。良好な環境は、私たちにかけがえのないものであり、これを保全し、積極的に将来の世代へ継承していくために、市の環境の総合計画である環境基本計画を策定することを予定しています。

省エネ型ライフスタイルについて、皆さんの工夫・アイデア、体験談等がございましたら、左記まで郵便またはファクスでお寄せください。今後の環境行政に生かしていきたいと考えています。

〒202－8555 市役所保谷庁舎環境保全課　ファクス FAX 38・6282

６月５日は「環境の日」　時代が変わる　私が変わる　環境世紀の幕開けです